



49号

令和元年9/1
二中地区市民委員会
文化広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553

茨城国体炬火 チャレンジクラブが採火!

夏休み初日の7月20日、チャレンジクラブの子ども達により、茨城ゆめ国体開会式の会場にとりもされる炬火の火熾しの活動「二中地区炬火採火式」が行われました。茨城県で国体が開催される年にチャレンジクラブに参加していたからこそできたとても貴重な活動でした。

ほとんどの子が初めての火熾しで、「火きり弓」という横棒を上下させるときの力の入れ具合がなかなか難しく、最初の頃は、どのグループも「火きり杵」という

縦棒が右回り、左回りに回転を始めてもすぐに止まってしまいました。

何事もそうですが、「習うより慣れろ」の言葉通り、しばらくやっているうちに、多くのグループの火きり板から煙が立ち始め



ました。しかし、ちょっと油断すると火きり板のくぼみから外れてしまい、また最初からやり直しになってしまう具合でした。

30分、40分と時間はどんどん過ぎていき、このままでは1グループも火を熾すことができずに終わってしまうのでは、と一時心配になりましたが、残り時間が7〜8分を切った頃からあちこちのグループの火きり板から煙が立ち、焦げ臭いにおいもするようになりました。

そして、土浦市国体推進課の皆様の「子ども達の一生懸命さを無にしているのではない」という強い思いが伝わってくる懸命なご支援のおかげで、これまで8つの公民館で行った火熾しの中で、最も多くのグループが火熾しを成功させました。



熾した火はトーチに採火され、「二中地区の火」になりました。
8月3日には、ウララ広場で8地区公民館で採火された火が一つになり、「土浦市の火」となり、9月28

日の国体の開会式では、県内44市町村の炬火を集火し、「いきいき茨城ゆめの火」が誕生します。

今回も応援してくださった青少年育成部の皆さん、ありがとうございました。

(指導員 根本 茂)

火おこし むずかしかった

真鍋小6年 菅澤 真桜

採火式に参加して、火をおこすことがとてもむずかしいと感じました。もっと簡単だと思っていましたが、私の班は、火がつかなくて、とてもむずかしかったです。昔の人たちは、火をおこすのがとてもむずかしかったと思いました。火おこしや採火式など、なかなかできない体験をすることができて、とても楽しかったです。国体クイズでは、正解する自信がありました。意外とむずかしくて、わからなかったです。このクイズをして、国体のことをもっと知りくなったので、夏休み

に国体のことについてくわしく調べてみたいと思いました。今度、学校で国体を見に行くので、いろいろな国体のことを知ることができて良かったです。また、キララまつりで行う集火式にも参加するので、採火式に参加することができて、とてもよかったです。

トーチを持ててよかった

真鍋小6年 松本 虹

今日は、「自分で火をおこす」というのはじめての体験をしました。簡単に火がつくと思っていましたが、なかなか火がつかなくて大変でした。早く火がついた班もあれば、全くついていない班もありました。何回も火おこしの道具を替えてもらいましたが、全然つかないかったです。

タイムリミットになってもつかないだったので、最後は各級の火を集めて「二中地区の火」にしました。トーチを持てて良かったです。

集火式にもぜひ参加したいです。



二地区

新

地区長紹介



真鍋二丁目
菊田光比古
趣味：ゴルフ

真鍋二丁目は4～5年前から若い世帯が急に増えました。青年会、子ども会育成会の活動も活発になり明るい町内会として成長していると思います。

ただ残念ながら子供達や老人の集う公園や広場が近くにありません。駐車場等で遊んでいると、子供達の遊び声がうるさいと苦情が学校にまであったりして、遊べる場所がない状態です。なんとか行政にお願いするしかありません。鹿島神社の祭礼は当番町に当り準備で多忙な毎日を送っておりますが、若い力を借りながら祭りはもちろん、防犯、防災等の活動を含め住みよい町づくりを目指していききたいと思います。



西真鍋町
横田悦男
趣味：ゴルフ、家庭菜園

西真鍋町は真鍋ブロックの中で最も古い町内の一つで、私が歴代33代目の地区長となります。

当町内会の基本的な活動は、年間四つの催事を継続して実践し、町内の融和を図り、顔と顔を合わせたコミュニケーションづくりを伝統として来ました。

- ①町内全員参加の鹿島神社祭礼
- ②公民館で敬老祝賀会の開催
- ③西真会(青年会)、育成会中心の市民体育祭
- ④OB中心の寄宮祭(西真鍋氏神様)

と、幅広く年代に合わせた取組で町内の活性化を目指しています。

そこで私の役割は、それらの催事により多くの人達が気持ち良く参加出来るような活動と環境づくりだと思っています。

微力ながら町内会役員と力を合わせ、住み良い町づくりを目指してまいります。



殿里町
飯本克功
趣味：庭いじり、日曜大工(DIY)、ドライブ

4月から年功制によって殿里地区長になりました。元号が令和となる年に大役を仰せつかり異様な感慨を覚えていきます。先日、町の役員会があり先輩地区長さん方も出席したので他役員も含め今後の事についてご意見を伺いました。様々な意見の中、築50年を超え老朽化する殿里公民館の話になりました。しかし残念ながら建て替える程の予算や寄付はまず望めません。市に補助金の申請をして上手な修繕方法を皆と一緒に考えたらどうか？話はそういう事に落ち着きました。ところが市の補助金は申請してすぐには出ないようで、一つずつ階段を登って行く事となりますが、他の役員と共に頑張ってみようと思います。今後二年間よろしくお願いいたします。



東都和
山本正孝
趣味：唱三線、木工

東都和は平成初期に東都和団地として誕生し、ほぼ同じ世代が同時期に入居した約200世帯のコンパクトな町です。それから約30年経ち子供たちも独立し、定年過ぎの団塊世代を中心に急激に高齢化率が進んでいるのが現状です。そのため近年高齢者の負担となる町内会行事を中心しました。その一方で集会所を中心とした幾つかの同好会や東都和ふれあい・いきいきサロン活動も盛んに行なわれています。また災害に備え防災設備の充実や訓練も行っています。近年新築も増え若い世代の方々も加わりました。この様な現状を踏まえ、皆様の協力を頂きながら微力ではありますが明るい町づくりが出来れば幸いです。

真鍋一丁目
真鍋三丁目
真鍋四丁目
真鍋五丁目
真鍋六丁目
東真鍋町

本橋 泰雄
小島 利夫
上野 嘉久
羽生 佐洪
大川 勝己
下田 衛

真鍋新町
木田余東台
木田余西台
木田余西台
若松町

和知 五月
飯山 孝之
南川 幸之進
名和 幸二
湯原 慶一

市民委員会

新 委員長紹介



委員長

南川幸之進

この度、羽生前会長の後を真鍋ブロック会の会長（兼市民委員会委員長）として選任されました。大変な重責ではございますが皆さまのご協力を得まして、務めてまいります。

私は、木田余東台の地区長として（合併も含め）副地区長4年、地区長14年を務め現在に至っております。市民委員会の専門部員として平成13年から安全部一筋に活動してまいりました。その間、多くの方々との出会いがあり素晴らしい人間関係が構築できたと思っております。後輩も育ち活躍しております。

また、行政の一組織として市長が、永年スローガンとしている「協働のまちづくり」を全面的に行動してまいります。地域でできることは地域で行うことにより、良好な住民意識が高まると思っております。

今後も二中地区コミュニティセンターのさらなる発展に寄与してまいりたいと思いますので、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

二中地区公民館

新 職員紹介



館長

山口一樹

本年4月1日の人事異動により、市民活動課男女共同参画室より赴任いたしました。何卒よろしくお願いいたします。

市役所では主に上下水道といった建設部門を中心に仕事をしてきたため、公民館では初めてのことが多く不慣れなことばかりですが、皆様から温かくしていただき、感謝申しあげる次第でございます。

さて、公民館では、前期・後期の講座や同好会・ボランティア活動といった社会教育活動、市民委員会をはじめ、各専門部による地域の市民活動としての拠点、そして社会福祉協議会真鍋支部として地域福祉の拠点として運営をしております。

二中地区公民館が、地域の皆さまのふれあいの場として、また、地域づくりの場となりますよう、職員一同努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



社会福祉協議会

福田侑希子

二中地区公民館には、社会福祉協議会（社協）真鍋支部があります。福祉の総合相談窓口として、地域ケアコーディネーターを配置しています。子どもから高齢者まで、支援を必要とする方の相談を受け付けています。

また、高齢化が進行し、ひとり暮らしの高齢者が増加しています。高齢者ご本人やご家族の不安を解消するため、交流や安否確認のための事業も実施しています。

私は、4月から土浦市社会福祉協議会真鍋支部職員として配属になりました。未熟なところは多々あるかと思いますが、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながらがんばってまいりたいと思います。

困りごと、心配ごとがありましたら、遠慮なくご相談ください。お待ちしております。



二中地区公民館の

安全柵改修

主事 浅野 倫子

公民館と、隣接する砂利駐車場との間には水路があり、以前から木製の安全柵が設置されていたところですが、経年劣化が進んでおりました。そこで公民館から相談をさせていただきました。昨年10月に、公民館協働駐車場の安全柵を改修するはこびとなりました。

作業は、羽生前委員長、本橋地区長、下田地区長のご協力のもと行われました。既設の木柵を撤去した後に、単管パイプの柵が設置されました。おかげさまで、11月に開催された二中地区文化祭を気持ちよく迎えることができました。お力添えをいただいた皆様、大変お世話になりました。



(改修前)



(改修後)



バラの育て方とガーデニング教室



楽しく健康太極拳

前期公民館講座



こうして骨を守る骨粗しょう症予防講座



お寺で座禅を学びませんか！



認知症介護をめぐるメンタルヘルス



えいごでスピーチしよう！（初級編）

公民館講座のご案内

公民館講座は、前期・後期に分かれ、さまざまな分野で開かれています。募集要項は、市の広報誌「つちうら」の4月・9月号に掲載されます。市内の各中学校区の公民館毎に募集案内が出ます。二巾地区以外の講座にも応募出来ますので、興味のあるところに問い合わせせてみて下さい。



知っ得と安心なるほど講座

市民委員会専門部事業 参加報告

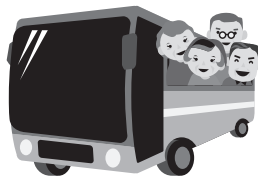
合同視察研修

百里基地視察

高山 了(安全部)

平成31年2月15日、二中地区市民委員会の合同視察研修が実施されました。各専門部会や地区長等総勢36名の参加。小雨が上がった朝9時に公民館を中型バスで出発。一路、目的地の航空自衛隊百里基地に向かいました。

午前10時、小美玉市の百里基地に到着。正門でのチェック後、担当官の誘導で百基広



報館にバスで移動。中では、女性自衛官含め4名がお出迎え。ビデオを使って航空自衛隊全体と百里基地の概要説明がありました。

百里基地は、関東で唯一の戦闘機保有部隊として首都圏防空の任を担う第7航空団、航空自衛隊唯一の航空偵察隊等、10個の部隊が所属。国籍不明機の行動や不測の事態に素早く対応するために、昼夜の区別なく

緊急発進する態勢を維持しています。

隊員数は約1800名、主要設備としてF-4EJ改戦闘機、RF-4E/EJ偵察機、T-4中等練習機、U-125A救難捜索機、UH-60J救難ヘリコプターを保有しているそうです。

ビデオの後、展示室での説明や、戦闘機のコックピットに乗った姿や戦闘服姿での写真撮影等を楽しみました。売店でお土産を購入後、再びバスで基地内を移動。広大な格納庫に入り、戦闘機のすぐ近くで現役のパイロットから詳細な説明。質疑応答も自由に活発にでき、大変勉強になりました。

2時間の見学後、正門を出て、バスで百里基地を囲む一般道をぐるりと廻り、空の駅「そらら」に到着。地元野菜や蕎麦等の多種の料理が並び、好きな料理を選び、感想等話しながら昼食。千円でお腹一杯。食後はお店で野菜等お買い物。



最後は茨城空港の見学。遠くには午前中に見学した格納庫が見え、滑走路から発進・着陸を繰り返す自衛隊機が良く見えました。

茨城空港見学後、公民館に午後4時に帰着。大変有意義な研修会でした。



航空自衛隊 百里基地
二中地区市民委員会専門部合同視察研修 百里基地
平成31年2月15日

まちづくりの 実践をたたえる表彰

「土浦市まちづくり市民会議」では明るく住みよい豊かなまちづくりを推進するため、市民憲章を制定しており、多大な功績をあげている個人や団体を表彰しています。

今年度は、二中地区では次の方々が表彰されました。

地域住民との連携意識向上のため献身的に行動し、感謝されている方々です。

●矢口 淑子さん

(木田余東台三丁目)

町内各種行事に率先して参加協力をし、また、防犯・環境美化活動を通して町内をよくまとめました。

●寺澤 徹也さん

(木田余東台四丁目)

町内各種行事に率先して参加協力をし、また、スポーツ及び防犯活動を通して若者をよく束ねていました。

●小山 智美さん

(木田余東台四丁目)

町内各種行事に率先して参加協力をし、また、専門部活動を通して若者をよくまとめました。



中區 三地

高齢者クラブ紹介 ①

●今回より3回にわたり、「土浦市高齢者クラブ連合会」に入っているクラブを順次紹介していきます。(原稿はR17月)

真鍋二丁目真睦会

会長 山口 卓三

当高齢者クラブは過去に福寿会として活動するも、会員全体の高齢化に伴い活動不能となり解散する。数年後復活をはかり、平成25年12月に45名の会員にて真睦会が誕生する。

目的は、『会員相互の親睦をはかり、健康・友愛・奉仕』を基本に「生活を豊かにする楽しい活動」「地域を豊かにする社会活動」に取り組み、健康で生きがいのある生活の実現と高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与すること。

目的を達

成するため

の活動とし

て、会員全

体の懇親会

を4・9・1

月に町内公

民館にて盛

大に行つて



川越への研修日帰り旅行

90%以上の参加者があり好評を得ている。また研修日帰り旅行を5・11月の年2回行っているが、5年目ともなると目的地を決定するのに役員が頭を悩ませている昨今である。

その他、鹿島神社祭礼、防犯パトロール、環境美化、市高齢者スポーツ大会やグラウンドゴルフ大会参加、手芸教室開催等々、目的に沿った活動を行っている。

真鍋四丁目五月会

会長 青木葉 孜

初代会長齋藤氏により昭和57年4月1日発足。昭和・平成・令和と37年間「教養の向上・新しい時代感覚、健康と豊かな生活（健康増進）、趣味&娯楽・レクリエーション等の普及、地域社会交流・町内発展に寄与」を目的に年度計画を立案し日々達成のために努力しているところです。

主な行事として、総会、敬老祝賀会、新年会（郷土芸能伝承）、日帰り旅行（施設見学等）2回、思い出づくり（小学6年生を送るグラウン

ドゴルフ大会
町内福祉委員
会共催）、三
角公園花壇に
季節を彩る
花の苗植付
け（市花いつ
ぱい運動等参
加）&遊具場
広場の清掃・
草取り（四丁
目子ども会育
成会実施）、研修昼食会2回（高齢
者交通死亡事故未然防止等講演会・
参加者全員で童謡・唱歌等を若かり
し頃を思い出し合唱・輪投げ・カラ
オケ）、鹿島神社境内清掃（年10回）、
グラウンドゴルフ練習（月2回）、
いきいき体操&カラオケ・防犯パト
ロール等積極的参画。

町内においての季節の挨拶、子供達とは登下校時の「おはよう・おかえり」の挨拶が、笑顔で話し合いができる環境づくりに必要ではないでしょうか。

真鍋六丁目富士見会

会長 近藤 修

会員数53名、内訳は男子33名、女子20名、90代が4名、80代が17名、



新年会（郷土芸能伝承）

70代が23名。60代は男子が9名いるので会の幸先は明るい。

会の活動として、常時活動の定例会は、毎月第三日曜日に集まり、飲食を共にしながら、次の活動の打合せや、雑談の中での情報交換による会員同志の健康確認、時には、「うどん・そば打ち体験学習」「公民館清掃」等々。

また、同好会として、カラオケとグラウンドゴルフがあり、それぞれが練習日を決めて練習している。

全体として取り組んでいるのが「土浦市まちづくり推進協議会」による花壇コンクールへの参加で、苗の植え付け、水かけ当番など、4月から7月にかけて大忙しです。

更に、「春の日帰り旅行」「秋の一泊旅行」も楽しみの一つです。



うどん・そば打ち体験学習

小中一貫教育の現状報告

真鍋小学校長 小林 知永

土浦市では、平成30年度から全小中学校・義務教育学校で小中一貫教育を実施しています。義務教育の9年間を通して「個性を伸ばし合い、

創造力豊かで、生きる力、人思いやる心をもった児童生徒の育成」を目指しています。知・徳・体のバランスのとれた力を伸ばし、充実した学校生活を送れるように、という基本理念のもとに、系統的・継続的で、きめ細やかな指導を展開しています。土浦二中と真鍋小は、平成23年度から市の小中一貫校の※パイロット校として、多方面から実践的な研究を推進してきました。これまでの取り組みの成果を生かし、共同研究を進めています。

4月、土浦二中・真鍋小全職員で合同研修会を開催しました。そこで、今年度の小中一貫教育の研究目標を『ひと』『もの』『こと』とのかかわりを通じた教育活動の実践による確かな学力の習得と豊かな人間性の育成』と設定し、取り組みを進めることになりました。二中・真小地区では、社会的な基盤、地域の行事、地

域の方々との交流等を通して、社会全体で児童生徒の教育に尽力していただいております。地域の教育的資源を生かしながら、小中一貫教育を通して子どもたちのよりよい成長を実現したいと考えています。

まず、「確かな学力の習得」ですが、小中職員が、「国語」「算数・数学」「社会」「理科」「外国語・英語」「生活・総合・キャリア教育」「特別支援」の7部会に分かれ、系統的で実効性のある学習スタイルの構築に向けて協議を重ねています。6月～7月には、相互授業参観を行いました。毎年、職員の異動がありますので、普段の授業を公開し合い、児童生徒の実態や学習形態を全職員が共有することが第一歩と考えています。お互いの授業を観ることで実態や課題を把握し、夏休み中に9年間を見通した系統的な学習指導をより充実させるため、合同研修を実施する予定です。

また、豊かな人間性の育成を目指して、児童生徒・職員間の交流活動継続しています。児童生徒間の交流では、①合同あいさつ運動（中学校↓生活委員会）（小学校↓代表委員会）②中学生による読み聞かせ（中学校図書委員会↓小学校1・2年生）

③部活動支援活動（美術部↓図工、吹奏楽部↓金管クラブ、陸上部↓陸上記録会練習）等を行っています。また、職員間の交流としては、①合同研修会②合同学校保健委員会（年2回）③生徒指導推進協議会（学期末開催）を通して、研修、情報交換を行っています。前期課程修了前には、小中接続を円滑にするため、①部活動体験②入学説明会（授業参観等）を実施しています。

小中一貫教育の授業における柱の一つは「主体的で対話的な深い学び」の実現です。小中職員相互の研修を更に充実し、児童生徒の学ぶ意欲を高め、地域の方々との対話や交流等を手がかりに、より深い学びを創り上げていきたいと考えています。地域の皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

※新しいタイプの学校運営実践研究校

名称が変わってます！

真鍋小学校卒業式

卒業式 前期課程修了式

土浦第二中学校入学式

入学式 後期課程進級式

真鍋小学校
1年生、2年生…6年生

土浦第二中学校
1年生、…3年生

1年生、2年生…6年生、7年生、…9年生



新着図書紹介



「作り置き」よりもカンタンでおいしい！ 志麻さんの自宅レシピ

フーガはユーガ タサン志麻
父からの手紙 伊坂幸太郎

老後の資金がありません 小杉 健治

愛なき世界 垣谷 美雨
体を温めるとすべての痛みが消える 三浦しをん

坂井 学
ブロードキャスト 湊 かなえ

小学生のおかたづけ育 Emi
すぐ死ぬんだから 内館 牧子

沈黙のパレード 東野 圭吾

昨日がなければ明日もない

宮部みゆき
ニムロッド 上田 岳弘

1R1分34秒 町屋 良平

七つの会議 池井戸 潤

町内ウォッチング

東真鍋町

弁天池（別称櫻ヶ池）

東真鍋児童公園に小さな池がある。過去に「夫婦銀杏」と呼ばれ親しまれた巨木が歴史の重さを今に伝えている。その傍には弁財天様を祀る御堂が静かに鎮座している。池名の由来である。

弁天池は昭和20年代までは児童公園全体が池であり、農業用水の溜池として水田の供給源であった。昭和30年代初め西側一部、のち全面埋め立て昭和47年4月児童公園開設（2854㎡）に至る。



現在の弁天池



花壇の手入れ

記録によると、面積3反11歩

（911坪）新治郡真鍋町大字真鍋字大目下1709番地。当時池が桜の木で囲まれ自噴の清水で満たされ、睡蓮や小魚が泳ぐ憩いの場であった。農家の野菜の洗い場としても活用されていた。大正13年以来東部青年が養鯉増殖事業を行い活動資金に充てる。（昭和10年記録に稚鯉2千匹を75円で購入4月より増殖開始とある）

昨年池が浚渫され子ども達のザリガニ釣りの聖地として歓声が響く。樹木等の手入れや草刈りは地区住民が定期的に行い整備、花壇にサルビア、マリーゴールドの花、コキア苗が青々として出番の時を待っている。

（地区長 下田 衛 記）



防災訓練

「櫻ヶ池弁財天」の由来

弁財天氏子 真鍋有志

御堂建立の年月は不明ですが、古老達の話によれば約200有余年前に、弁財天の御尊像が池の辺りに祀られたということです。（弁財天のお使いが蛇なので、ねずみ退治の意味もあるといひます。）家内安全・五穀豊穡・商売繁昌等の御利益があり、益々信仰されるようになりました。また弁財天は女の神様という事で、子供を授かるように、またそのお礼という事でお賽銭以外に生卵をお社にお供えする方もいます。昭和41年御堂大改修、其の後老朽化の為平成7年新築されました。

このお社を管理しているのが弁財天講です。現在は真鍋三丁目と東真鍋

町の人達で行っています。以前は男の人も参加していましたが、現在は女の人だけです。昭和26年頃は約30名いましたが、現在は12名になってしまいました。年に1回、旧正月初巳の日にお社に集まってお参りをし、その後会食をしたりしています。その他に、草取り（4月～8月）、銀杏の落葉掃除（年に1回）を当番制で行っています。近所の方々の協力もあって、長年、存続できているのだと思います。



弁天社竣工式



▲「やすらぎ」のバックナンバーは二中地区公民館ホームページから見るができます。